

AN

294

Vol.

AGUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine

APRIL 2020
100YEN

NATURE IN THE GLASS

水はめぐる

ENJOY DOOA
システムバルダ 60で熱帯の雲霧林を再現

ADA Review
さまざまな形で楽しむバルダリウム

特別企画 ADA EVENT REPORT 第1回
生きたアート展「巨大石組レイアウトに挑む『清流の石景』」

みずくさ FOCUS 第29回
「液体培地、増えてます」

ネオグラス エア スタイル #17

Plant Art Studio #29

NATURE IN THE GLASS

Yusuke Homma

水上部分をメインに 水の循環をテーマにした アクアテラリウム

【水はめぐる】 私たちアクアリストにとって、あまりにも身近な存在である水。人間はもちろん、地球上のすべての生物にとって、水は欠かすことのできないものである。自然界の水は一箇所に留まることなく、さまざまな形で環境の中を絶えず循環している。私たちが見ている“水”は、その一瞬の姿に過ぎないのだ。そんな水の循環を、水上と水中のつながりで表現することをコンセプトに、このレイアウトを制作した。水上部分は数種のモスを主体に、小型ランやペゴニアなどのジャングルプランツ、水際にはラゲナンドラやブセファランドラを植栽。水中部分は暗くなり過ぎないように、マイクロソラム・トライデントと南米モスのみとしている。

©AQUA DESIGN AMANO

DATA

影 日 2020年2月18日 (ADA)
 制 作 本間 裕介 (レイアウト制作・文)
 水 槽 キューブガーデン W180×D120×H60 (cm) ※オーダーメイド
 特注ミストフローボックスでミストフロー4台使用
 照 明 ソーラーRGB×6基 1日8時間30分点灯
 ろ 過 スーパージェットフィルターES-2400 (バイオリオ)
 水位管理 水中ポンプを使い1時間に1回約150L増減、2時間おきに1分間ミスト散水
 時間管理 パワーコードS-70
 底 床 アクアソイル・アマソニア、トロピカルリバーサンド、パワーサンド・アドバンスL、
 パクター100、クリアスーパ、トルマリンBC
 CO₂ CO₂ピートルカウンターで1秒に8滴、出水パイプ内に添加 (タワー使用)
 添加剤 プライティK、グリーンプライティ・ミネラル、グリーンプライティ・アイアン、佗び草ミスト
 換 水 1週間に1度 1/3
 水 質 水温25℃ pH:6.8 TH:20mg/L
 素 材 山水石
 植 物 佗び草マット ハイグロフィラ・ピンナティフィダ
 佗び草マット クリスマスマス
 BIO プセファランドラsp. シンタン
 ジャングルプランツ ミクロソラム・トライデント
 ジャングルプランツ ラゲナンドラ・ヴィネイチャンドラ
 ジャングルプランツ ラゲナンドラ・ケラレンシス
 ジャングルプランツ ラゲナンドラ・ミーボルディレッド
 ジャングルプランツ ティネマ・ポリルボン
 ジャングルプランツ セロジネ・フィンブリアータ
 ジャングルプランツ エピテンドラム・ポーバックス
 ジャングルプランツ メテオカルカ・テコラタム “オレンジ”
 ジャングルプランツ セラトステイリス・フィリピンシス
 ジャングルプランツ ペリオニア・レバンス
 ペゴニア・クロロスティクタ
 ペゴニア・ドラコベルタ
 ペゴニア・ドレグイ
 ペゴニア・ルノネシス
 ペゴニア・アンフィオクス

ペゴニア・ネグロセンシス
 ペゴニア・ウエルシコロール
 ペゴニア・バルサロウクシエ
 ペゴニア・ライア
 ペゴニアsp. サラワウ
 ペゴニアsp.
 アスピアス・ヘテロフィラ
 プセファランドラsp. レッドミニ
 ラゲナンドラsp. シルバー
 ニューオランダプラント
 ネベンテス・アンブラリア
 (スベクタピリスメタランゲンシス)
 アルティシアsp.
 ハルボフィラム・アンブロシア
 アスプレニウム・アンティウム
 ヘミオニテイス・アリフォリア
 ヘリアンフォラ・ミノー
 デンドロビウム・リケナストラム

バルボセラ・アウストラリス
 ベベロミア・エマルギネラ
 テンブルプラント・コンパクト
 ラーゼリーフ・ハイグロフィラ
 ペルタンドラ・ウィルギニカ
 プレクナム・ギツバム・シルバレーディ
 プレウロタリスsp.
 ホマロメナsp. スカダウサウス
 ホマロメナsp. リンガ
 ホマロメナsp.
 フィカス・ブミラ・クエルシフォリア
 フィカスsp.
 シマオオタニワタリ
 シノブゴケ
 コアカミゴケ
 ヒメレンゲゴケ
 ヒメジョウゴゴケ
 ヒバゴケ

モウセンゴケ
 カラテアsp.
 カタヒバ
 オニヒノキシダ
 サクラタテ
 リュウノヒゲ
 南米モス

魚 種

ラスボラ・カロクロマ
 ラスボラ・ヘテロモルフア
 ミクロラスボラsp. ブルーネオン
 ハニドワフ・グラミー (ワイルド)
 ドワーフ・グラミー (ワイルド)
 ボルネオ・プレコ
 ホンコン・プレコ
 パキスタン・ローチ
 プンティウス・フォーシー
 クテナプス・ノビリス
 ボララス・ブリジッタエ
 サイアミーズ・フライングフォックス
 オトシンクルス
 ヤマトマエビ

山水石でつくる 完成時のイメージから 逆算した構図骨格

構図のつくり方は人それぞれ、ケースバイケースだと思うが、今回のレイアウトでは、完成時のイメージから逆算して構図をつくった。想定したレイアウトのイメージは、水上部分を多く取り、そこにモスやジャングルプランツが繁茂したものだったので、構図素材はほとんど隠れて印象が弱くなるのが予想された。そこで、植物が繁茂した後も構図骨格の印象が残るように、構図素材は荒々しい印象の山水石を選び、組み方も迫力を出すように意識した。今回使用した水槽は、奥行きが通常の倍の120cmある特殊な180cm水槽なので、その奥行きを生かすように、山水石を組んで奥に入り込むような凹型構図をつくり、前景に白い化粧砂を敷いて奥行きをさらに強調した。なお、アクアソイルの下には、かさ増しのため軽石を敷いている。



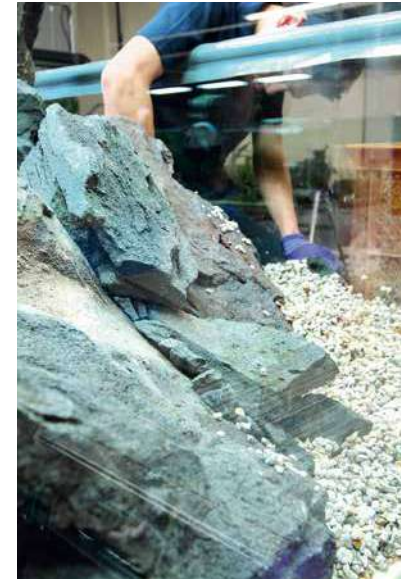
石の選定
ギャラリーを埋め尽くす巨大な山水石。素材の集積場所でイメージにあった形と大きさの石を大まかに選び、その中からレイアウトに使う石を厳選していく。

2



石の下のウレタンフォーム
ガラス面の保護と石の滑り止めを兼ねて、石の下にウレタンフォームを敷く。前景には化粧砂を敷くため、ウレタンフォームは配石に合わせてカット。背景側には、まず軽石を敷いた。

3



軽石の利用
石と石の間には、小さな山水石や軽石を使ってしっかりと土留めを施した。軽石は土留めのほか、底床の目詰まりを防ぎ、通水性を確保する目的で利用している。



構図

4

荒々しい構図骨格
構図骨格には、荒々しく迫力ある山水石を多く使用した。大きな石から順に組み上げて骨組みを構築し、底床の敷き分け(アクアソイルと化粧砂)を行いながら全体のバランスを整えていく。
2019年8月29日 撮影

©AQUA DESIGN AMANO

1



数人がかりの大仕事
石が大きく重いため、配石はスタッフ数人がかりの大仕事となる。微妙な石の傾きを決めていく。

特寸サイズの山水石はボンドや接着剤などを使わず、小さめの石を利用して傾きを調整しながら組み上げた。こういった石の固定は自然界から学ぶことが多い。

5



植物の生長を考えた構図
植物が生長して印象を和らげることを想定し、構図はあえて強すぎるくらいにしている。山水石にモスをはわせることで佻び寂びを表現した。
2019年8月29日 撮影



2019年9月24日 撮影



2020年2月18日 撮影

タイマー制御で
熱帯雨林の水位変化を再現

水位変化の表現

自然界では環境は常に変化し、一定ではない。そこで、環境を過度のストレスにならない範囲で変化させることで、生き物が持つ本来の魅力を引き出すことはできないか考えた。この水槽では、雨で水位が上下するように、周期的に水位を変動させる仕組みになっている。



26分をかけ
水位が15cm
上下する



2

ミストフローで水分を補給

水槽の背面上部には、特注のミストフローボックスを2基設置。そこからミストフローによる霧が発生し、石肌に着いたモスや水上部分の植物たちを潤しながら水面に流れ落ちていく。水分補給と演出効果の役割がある。

1

パワーコード S-70による制御

新製品のパワーコード S-70は、タイマーの設定を70個登録することができる。このタイマー機能を利用し、市販の電磁弁と水中ポンプを組み合わせ、1時間に1回、約15cm水位が上下する仕組みをつくった。



パワーコード S-70



3

水際の植物たち

水際に生えるラゲナンドラやプセファランドラの自生地は、天候によって水位が変化し、水上にも水中にもなる。そこで、自生地と同じように水位が上下するようにし、根が活性化することを期待した。





水上部分のボリュームがあるため、上のほうから見るのも楽しい。アクアテラリウムにバルタリウムの表現を取り入れている。

照度や空中湿度など 植物の生育環境を考えた 水上部分の配植

水上部分の上層と中層にはジャングルプランツとランを植栽し、水際にはプセファランドラなどを配置した。ソーラーRGBの光は、ペゴニアなどには強すぎる場合があるので、上層にシペルス・アルテニフォリウスやブレクナムの葉を展開させて遮光したり、定期的にはミストを出して空中湿度を高める工夫が必要だった。

ペゴニア・クロロスティクタ



熱帯植物に適した環境

ペゴニアなどの熱帯植物には弱めの光を好む種類も多いので、生育に適した環境をつくる必要がある。時間が経過して環境になじめば、葉を次々に展開するようになる。



ホマロメナsp. スカダウサウス



ラゲナンドラ・ミーボールドレッド

BIO MIZUKUSA NO MORI



プセファランドラsp. シンタン



上層



ペゴニア・ドラコベルタ

ブレクナム・ギツバム・シルバーレディ



ペゴニア・アンフィオクス



ラゲナンドラsp. シルバー



ホマロメナsp.



プレウロタリスsp.



ペゴニア・ルゾネシス



フィカス・ブミラ・クエルシフォリア



ネペンテス・アンブラリア
×(スペクタピリス×タランゲンシス)



セラトスティリス・フィリピンシス

中層



ディネマ・ポリブルボン



ペリオニア・レベンス

ペゴニア・ネグロセンシス



ジャングルプランツ
ラゲナンドラ・
ヴィネイチャンドラ (LC)

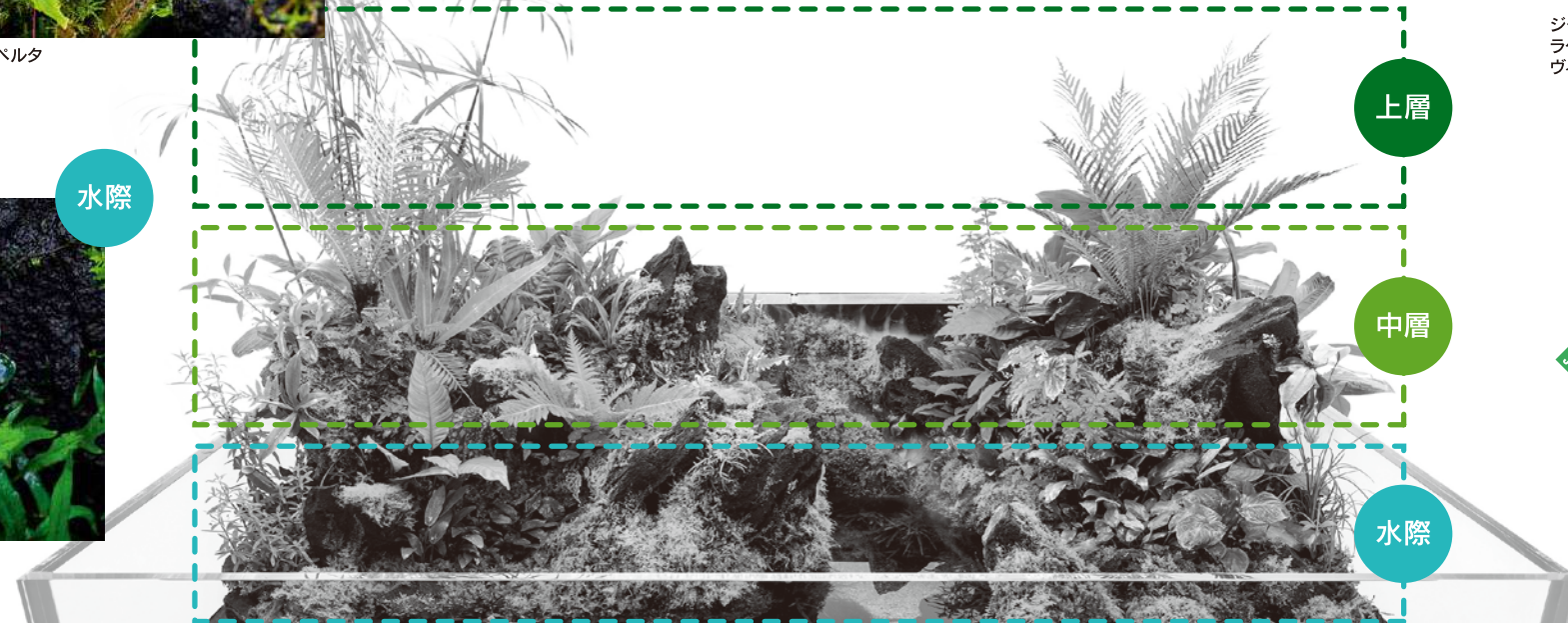


ジャングルプランツ
ペリオニア・レベンス (LC)



ジャングルプランツ
プセファランドラ・シンタン (MK)

発売予定



上層

中層

水際

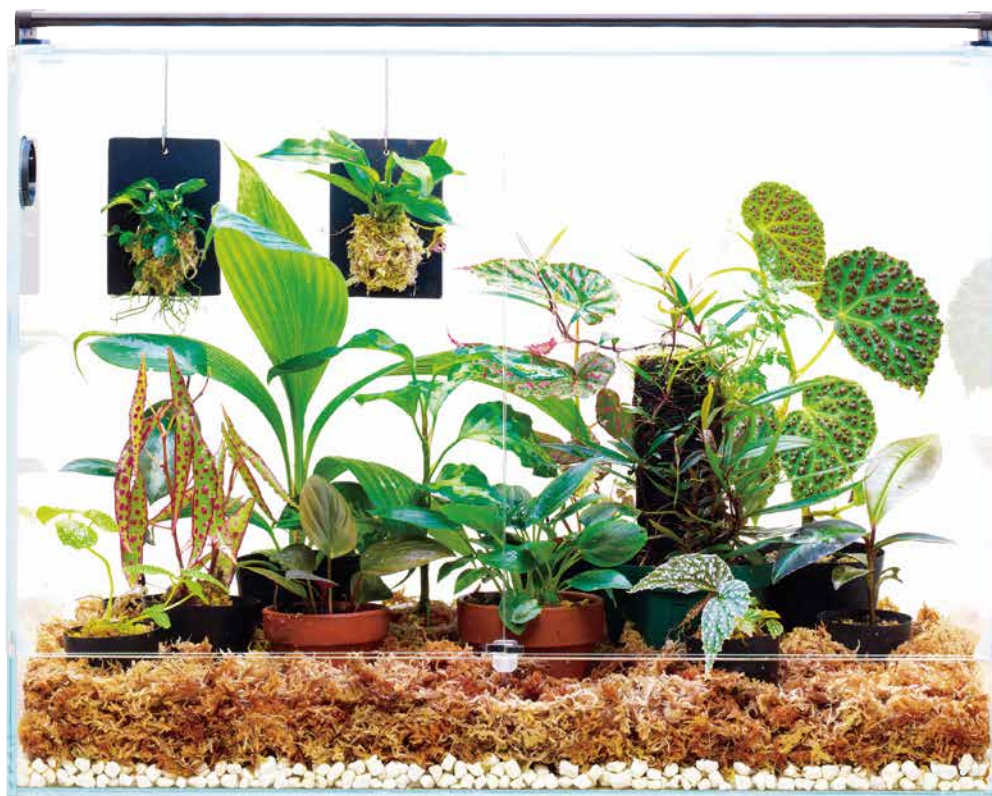
ネオグラス パルダ 60

保水性の高い水苔などを敷くことで、熱帯性植物や鉢植え植物の育成にも対応します。照明はパルダライト60 (別売)、底材には、ハイオリオG (別売) を使用。



システムパルダ 30

幅が30cmしかない小型のガラス水槽の中でも、十分に整った環境の下で、ジャングルを切り取ったような景色を再現することができます。照明はパルダライト60 (別売)、底材には、ジャングルソイル、ジャングルベース (別売) を使用。



ネオグラス エア

水槽内にジャングルソイル、ジャングルベースを敷き、流木や各種の植物を使って小さな景観をつくります。専用ガラスフタをずらすことで湿度を調節し、手軽にパルダリウムを楽しむことができます。水槽はネオグラス エア W20×D20×H20 (cm) を使用。



テラベース

熱帯雨林の樹幹に近い環境で植物を育てるテラベース。素焼きの陶製なので、内部に張った水が浸透し、その気化熱によって表面温度が下がります。冷涼な環境を好む着生植物を健康的に育てることができます。テラベース M、水槽はネオグラス エア W20×D20×H35 (cm) を使用。



テラプレート

テラベースと同じ素材を使用した陶製プレートで調湿機能に優れています。専用のフックでネオグラス エアにかければ、気軽に着生植物が楽しめます。テラプレート、テラプレートフック、水槽はネオグラス エアW20×D20×H30 (cm) を使用。

着生ラン付きホーンウッド

ホーンウッドSに水苔と着生ランを付けています。健康な根張りでランの状態もよく、そのままパルダリウムにも使用できます。近日発売予定。



DOOA PALUDARIUM

「さまざまな形で楽しむパルダリウム」

数多くの生物が生息する熱帯雨林や雲霧林をガラスの中で再現してみましょう。育てる植物の大きさや特性に合わせて育成方法も変わります。手軽なものから本格的なものまで、多様なスタイルで植物育成を楽しめます。

熱帯のジャングルや湿地、溪流などでは色鮮やかで独特な葉姿や模様の植物が生息しています。ドゥーアでは、それらを生命力あふれる姿で育成・観賞する方法として、ガラス容器の中に簡単に設置できるテラプレートから、水槽内の光・湿度・風をコントロールして環境を整えるシステムパルダまで、さまざまな形のパルダリウムを提案しています。また、ジャングルプランツ・シリーズは今後ラインナップが増えていき、植物の多様なあふれる景観を表現できるようになります。幅広い育成方法で、魅力的な植物を育成してください。



システムパルダ 60で 誰をも魅了する 熱帯の雲霧林を再現

熱帯の雲霧林には、岩や倒木、木々の枝先に至るまでモスに覆われた場所がある。そんな長い年月をかけてできた原始的な風景を室内で再現できるのが、DOOA システムパルダ 60の魅力である。このレイアウトでは、構図素材である流木全体をモスで覆い、配植した植物の色彩をあえて少なくすることで、静かで幻想的な雲霧林の雰囲気表現した。システムパルダ 60には、このようなレイアウトを觀賞するにあたって理想的な仕組みが詰め込まれている。前面トビラはメンテナンスがしやすい両開きになっており、觀賞も妨げない。また、ミストフローによる保湿に加え、サーキュレーションファン 40によって風を送ることで光合成を促し、ガラス面の曇りやカビなども抑制できるのである。

【SYSTEM DATA】

- パルダライト 60
- システムパルダ 60 W60×D30×H45 (cm)
- ミストフローボックス
- ミストフロー
- ミストフローキャップ
- サーキュレーションファン 40
- ウッドキャビネット (ブラック)
- パルダライト 60
- ジャングルソイル、ジャングルベース
- パワーコード S-70
- 佗び草ミスト

【植物】

ソネリラ・ヘテロステモン/ソネリラ・ドンナサメンシス/
ソネリラsp./ベゴニア・リケノラ/ビレア・スプルセアナ・シルバーツリー
ベロミア・エマルギネラ/アルゴステマsp./アルティシアsp./
メディオカルカ・デコラタム/マキシラリア・ソフロニティス/
エビテンドラム・ホーバックス/トリセテラ・ホエイジェリイ/
ドラクラ・ロタクス/プレウロタリス・フォルセプス・カンクリイ/
プレウロタリス・ニベオグロブラ/プレウロタリス・コスタリセンシス/
ステリス・モルガニイ/レストレビアsp./ハルボフィラム・カリクロマ/
セラトスティリス・フィリビネンシス/ミクログランマ・バクシニフォリア/
タバリア・レベンス/タバリア・ハルブラ/セラジネラ・ウイリテノイ/
セラジネラ・ピクタ/ディブラジウム・コルティフォリウム/
ポリポディウム・ポリポディオイデス/コクリティウム・セルラタム/ニラモス/
佗び草マット クリスマスモス/佗び草マット スパイクモス/佗び草マット ビーコックモス

2019年12月23日 撮影 (ADA) レイアウト制作・文 岩堀 康太 ©AQUA DESIGN AMANO



DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and renowned as a platform allowing everyone to enjoy plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.





パルダライト 60の光で ジャングルプランツの葉が 青い輝きを放つ

システムパルダ 60に対応するパルダライト 60は、ジャングルプランツの育成に焦点を当てて開発された専用の照明器具。従来の白色LEDを使用した照明器具では、モスや植物の葉が黄色っぽく見えてしまうが、RGB LEDを採用し、ADA独自の波長構成を行なったパルダライト 60では、ジャングルプランツの葉が自生地で見るとような青い輝きを放つ。また、赤い葉やピンクの花も鮮やかに発色するので、ジャングルプランツの魅力を最大限に引き出すことのできる照明器具と言える。

雲霧林の演出

流木をモスで覆うことで、苔に覆われて生きる樹木の力強い生命力を表現。ミストフローの霧とともに、雲霧林の雰囲気演出している。



ウォールの植栽

背面の佗び草マットでは、つる性のシダや小型のランなど、さまざまな着生植物を育成できる。

システムパルダの光

小型着生ランの花や、青く輝く植物をさらに魅力的に見せる。セラジネラ・ウィルデノウェイやバルボフィラム・カリクロマが美しく輝く。



影の部分の配植

目につきやすいセラジネラ・ピクタを、影の部分に配植。これにより構図がより立体的に見える。



ミストフローの効果で流木や壁面のモスがみずみずしく育つ。そんな中でシダや小型着生ランが展開する様子は、まるで自生地を見ているようだ。

本間裕介が挑む
天野直伝の
石組レイアウト

2020年4月18日よりグランフロント大阪にて開催される、「ネイチャーアクアリウム 生きたアート展」に展示予定の3m石組レイアウトの制作が、2月18日から21日まで行われました。この巨大石組レイアウトに挑むのは、ADA水景クリエイターの一人、本間裕介です。関西では初公開となる巨大石組レイアウトということで、制作に臨む表情には普段より一段と気合が入っていました。石組レイアウトは、ネイチャーアクアリウムの創始者である天野尚が最も強くこだわっていたレイアウトスタイル

であり、天野流レイアウトの真骨頂とも言えます。そんな天野直伝の石組レイアウトの技を継承しているのが、ADAの誇る水景クリエイター・本間裕介なのです。今回使用する「八海石」は、長い時間をかけてできた表面の虫食いという穴が特徴的な石で、天野が好んでレイアウトに用いてきたものです。総重量が400kgを超える八海石を使ったレイアウトは、経験豊富な水景クリエイターでも困難を極めました。その緊迫した制作の様子を、今号と次号、2回にわたって紹介します。



超大型水槽の石組レイアウトは、一人では絶対に制作できない。信頼できるスタッフたちと、息を合わせて配石を行っていく。



1日目

7人がかりでの水槽の搬入。このクラスの大型水槽はアクリル製が多いが、この水槽はガラス製で、特注のフレームが取り付けられている

2日目



水槽の養生には大量のウレタンを使用。水槽の内側全体が覆われていく。



失敗の許されない
現場の緊張感

重さ100kgを超える親石を6人がかりで持ち上げ、慎重に水槽の中に入れる。大きな掛け声でスタッフ全員の息を合わせて作業を進める。



配石が決まると、スタッフが一齐に底床を敷く作業に取り掛かる。ここまでくると、構図の全体像が見えてくる。

3日目



捨石で石組の構図に
魂を入れる

構図制作の最終段階として、捨石を置いていく。捨石は最終的に水草に隠れて大部分が見えなくなるが、奥ゆかしさが感じられる重要な存在である。



構図



石組レイアウトでは、水流をイメージして石を組んでいくことが重要である。このレイアウトでは、左側から流れてくる水をイメージしながら、全体の構図をまとめた。

NEXT AQUA JOURNAL

ADA EVENT REPORT

生きたアート展「巨大石組レイアウトに挑む — 清流の石景 —」 第1回 (全2回)

写真・文／編集部

ADAの水景クリエイターは、ネイチャーアクアリウム・ギャラリーでレイアウトを制作することが多いが、今回はイベントで巨大石組水景を展示するため、新潟を離れ、大阪でレイアウトを制作することに。緊張の現場の様子に迫る。

みずくさ

FOCUS

第29回 文・佐藤 正浩

「液体培地、増えてます」

進化して、ますます使いやすくなったBIO みずくさの森。今回は、ラインナップの中から現時点で液体培地に切り替わっている種類を紹介します。ぜひ、これからのレイアウトづくりに活用してください。



組 織培養において、栄養素に加えて水草などの培
養体を固定するための支持体として、寒天などの
多糖類を使用するのが一般的です。きのこ栽培におい
ては、きのこの元となる種菌を培養する工程があり、そ
の種菌の培養する際に支持体を添加せず、液体の培地
を使用して菌体の増殖を速め、培養期間を短縮すること
があります。水草などの高等植物の場合も、液体培地には
生長を速めるメリットがある一方、培養中に葉や茎が

透明になって生育不良を起こしてしまう問題がありまし
た。しかし、支持体に使われる寒天などは植栽時に取り
除くのが手間になるため、支持体がなくても水草の品質
を維持できるように液体培地の改良に取り組んできました
。液体培地は植物の種類によって適した組成が異なる
ため、現在液体培地になっていない種類も将来的に液
体培地化できるように、ADAでは日々試験を行っていま
す。今後のラインナップにもご期待ください。

●液体培地に切り替わったBIO みずくさの森ラインナップ

下草系

- ・エキノドルス・テネルス
- ・エキノドルス・テネルス ブロードリーフ
- ・オーストラリアン・ドワーフヒドロコティレ
- ・ヒドロコティレ・ミニ
- ・ウォータールー
- ・ショート・ヘアーグラス
- ・ヘアーグラス
- ・ベトナムゴマノハグサ
- ・インディアン・クラススラ

クリプトコリネ

- ・クリプトコリネ・アクセルロディ
- ・クリプトコリネ・ウェンティ ブラウン

有茎草

- ・アルテルナンテラ・レインキーミニ
- ・グリーン・ロターラ
- ・ロターラ・インジカ
- ・ロターラsp. ベトナム
- ・ロターラ sp. Hra
- ・ロターラ・マクランドラsp. ミニ
- ・ロターラ・マクランドラ グリーン
- ・ロターラ・バンガラデシュ
- ・ロターラ・マクランドラ
- ・ロターラ・ワリッキーロングリーフ

その他

- ・クリプトコリネ・ウェンティ グリーン
- ・クリプトコリネ・ウェンティ トロピカ

- ・スタウロギネ・レベンス
- ・ハイグロフィラ・ピンナティフィダ
- ・ハイグロフィラ・ピンナティフィダ'UK'
- ・アラグアイア・レッドシャープリーフ・ハイグロ
- ・プロセルピナカ・パルストリス
- ・ポゴステモン・ダッセン
- ・ルドウィジア sp. スーパーレッド
- ・ニードルリーフ・ルドウィジア
- ・ミリオフィラムsp. ガイアナドワーフ
- ・ミリオフィラム・マトグロッセンセ

その他

- ・ビグミー・マッシュルーム
- ・エレオカリス・ビビバラ

NEOGLASS

AIR ネオグラス
エア
スタイル

STYLE #17

ジャングルプランツの 躍動を感じる

Text_Kota Iwahori

熱帯雨林ではしばしば、樹幹にびったりと張り
付いて上に登っていくタイプの植物を見かけま
す。こういった植物は、クライマープランツと呼
ばれます。このレイアウトでは、流木の根元にク
ライマープランツであるマルクグラビアの若い
芽を植栽しました。一方で垂れさがするような植物
も見られ、ここではペペロミア・エマルギネラを
流木から垂らしています。このように、上下方向
へ展開するジャングルプランツを使うことで、レ
イアウトには新たに躍動感が生まれます。

DATA

ネオグラス エア W20×D20×H35 (cm)
ネオグラス エア 専用ガラスフタ 20×20 (cm)
ジャングルソイル
ジャングルベース

【植物】

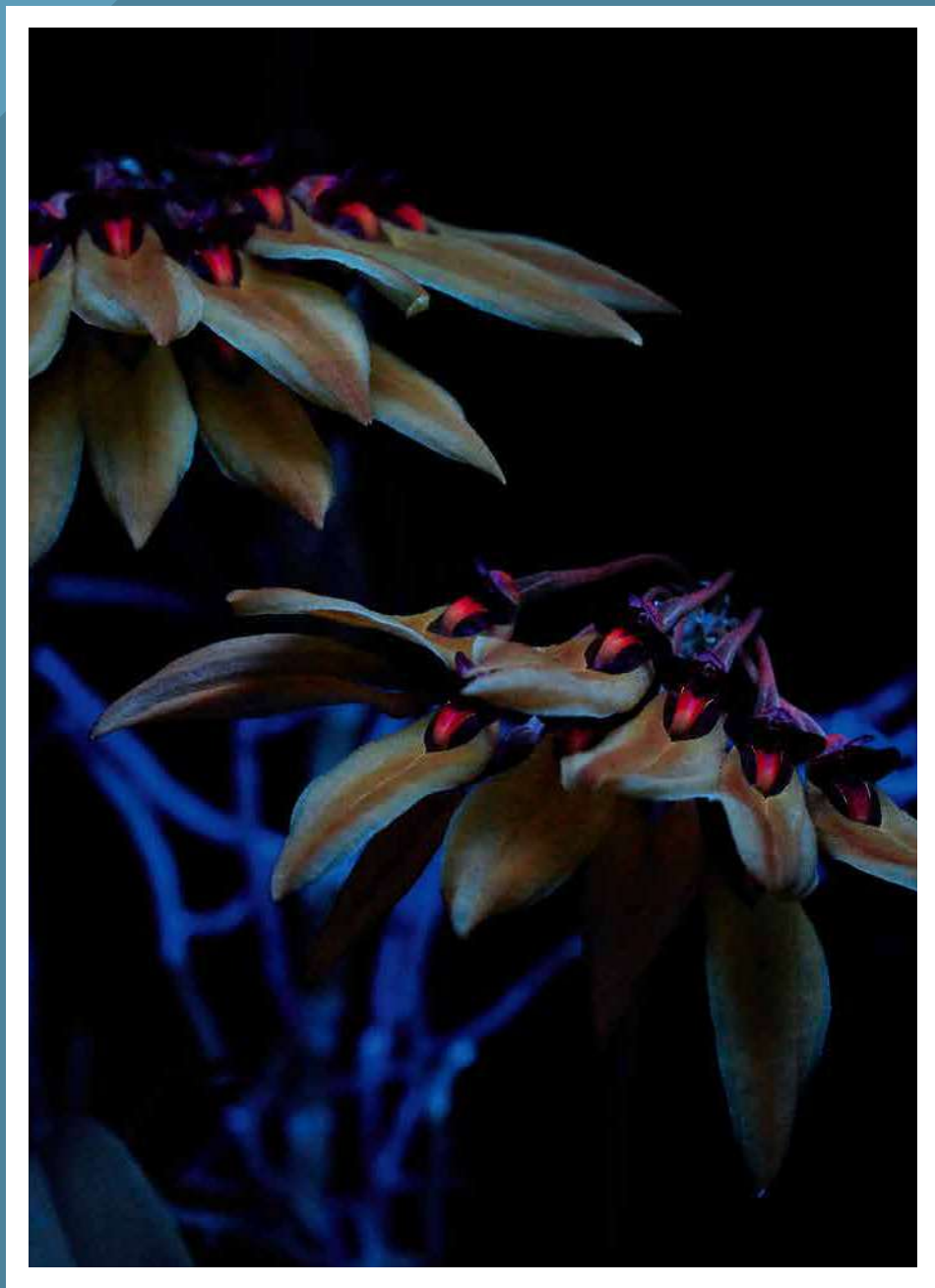
- ソネリラ・ブルケラ
- ソネリラ sp.
- ペゴニア・リケノラ
- ペペロミア・エマルギネラ
- マルクグラビア sp.
- ディネマ・ポリフルボン
- スカフォセパルム・オブラレ
- レバンテス・カロディクティオン
- レバンテス・テリボゴニコフロラ
- シダの仲間
- セラギネラ sp.
- コツボゴケ
- 侘び草マット スバイキームス
- 侘び草マット ビーコックモス

制作/岩堀 康太



PLANT ART STUDIO

プラント アート スタジオ



妖艶な花のフォルムは、広大な森の中で虫たちに見つけてもらうために進化した結果だろうか。

Photo & Text / 本間 裕介

※この画像は特殊なフィルターを通した紫外線を当て撮影しています。
※定常光の画像はADA公式Instagramページをご覧ください。
https://www.instagram.com/aqua_design_amano/

Bulbophyllum retusiusculum

29

INFORMATION



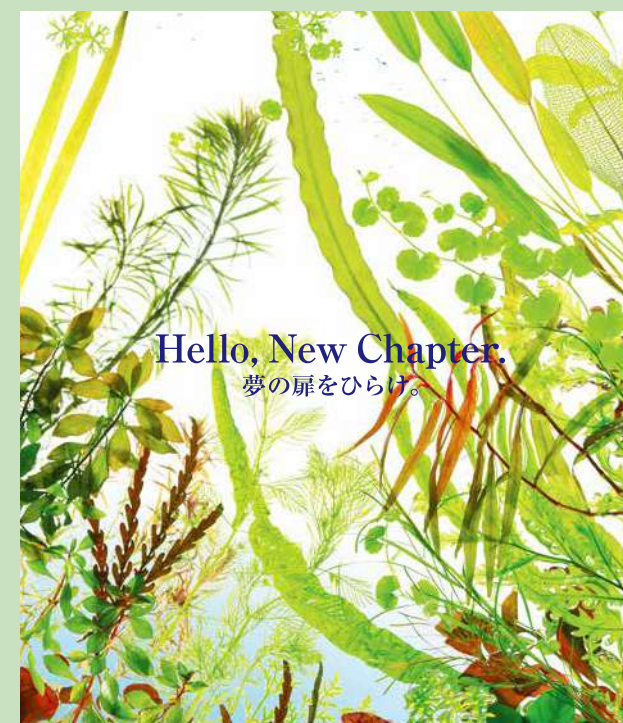
2020.4/18(土) - 6/7(日)

グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル イベントラボ

平日 11:00~20:00 チケットなど詳しい情報は公式ホームページまで
土日祝 10:00~20:00 URL: https://www.tv-osaka.co.jp/event/nature_aquarium/
※開催期間中は最終入場19:30まで

【主催】テレビ大阪 / ドリームスタジオ 【協力】株式会社アクアデザインアマン / ナレッジキャピタル

この春、大阪の中心地・梅田で、関西地方では初となる本格的なネイチャーアクアリウム展を開催します。60cm水槽から3mの大型水槽まで、ADAの水景クリエイターが制作した実物の水景を多数展示。そのほか、ネイチャーアクアリウムの創始者・天野 尚撮影の風景写真や、最新の映像作品もご覧いただけます。皆様、ぜひ会場で“生きたアート”をご覧ください。



THE INTERNATIONAL AQUATIC PLANTS LAYOUT CONTEST 2020 20th Anniversary

歴史的20周年記念のコンテスト

21世紀の幕開けと共に始まった世界規模の水草レイアウトの祭典「世界水草レイアウトコンテスト」。年々参加国数、総エントリー数ともに増え続け、世界規模のコンテストとして歴史を重ねています。今年は20周年記念コンテストです。皆さんの自信作をぜひ世界に向けて発信してください。

IAPLC 2020 Schedule

2020年2月	審査方法の発表
2020年3月	世界審査員発表
2020年4月1日	世界同時応募開始 ※オンライン・郵送ともに
2020年5月31日	応募締切 ※(オンライン24:00まで・郵送必着)

最新情報、詳しくは公式HPまで www.iaplc.com

STAFF CREDIT

Publisher
天野 しのぶ
AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.
©2019 Printed in JAPAN

Art Direction
NATURE AD DESIGN

Design
丸山 悟司 / 市川 亮 / 板橋 広夢
Editor
大岩 剛 / 阿部 正敏 / 本間 裕介 / 佐藤 正浩 / 岩堀 康太

Published by
株式会社 アクアデザインアマン

Printed by
株式会社山田写真製版所 <https://www.adana.co.jp>

NEXT AQUA JOURNAL

MAY.2020 vol.295 / 2020年4月10日(金)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。

緑、未来。

私たちの好奇心や探究心を満たし、

心を豊かにしてくれる水草やジャングルプランツ。

その原産地の多くは熱帯地域など海外であり、一部を除いて日本に自生するものではありません。

これからもずっと、植物の緑を楽しんでいくために、

ADAは、グリーン・マナーを提案します。



GREEN MANNERS

グリーン・マナー

植物の環境流出を防ぎましょう。

環境影響への意識を持ちましょう。

